



© JFA / PR



NADESHIKO
JAPAN

VOL.31 2021.06.23

委員長コメント

JFA 女子委員長 今井純子

東京五輪に向けてなでしこジャパンのメンバーが決まり、いよいよあと1ヶ月、最終の準備に突入しました。女子サッカーは、東京五輪の開会式に先立つ7月21日に、全競技のトップを切って試合が始まります。各競技にはずみをつけるためにも、しっかりと良い準備をしてスタートできればと思います。

また、様々な制約がある中ではありますが、全国での女子サッカーの発展のために、良い波を起こしたいと思います。そして、その波を全国でつかめるよう、頑張っていければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

お忙しい中、お時間をいただき、登録状況確認と情報交換を個別にさせていただいています。訪問会議に続き、こうして個別にお話しさせていただく機会是非常に有意義と感じています。テーマ別ディスカッションと併せて、皆さんの好事例、課題や工夫を共有して、各FAでの活動をさらに充実させていければと思います。

全国で、様々な活動を積極的にしていただいています。中学生年代の活動も増えてきていますし、WEリーグクラブ、なでしこリーグクラブによる活動も始まっています。JFA公式サイト等で共有させていただく機会も増えて来ました。大変うれしく思います。皆様の好事例活動がありましたら、ぜひ情報をお寄せいただきたいと思いますし、共有情報を有効にご活用いただければと思います。

もちろん、まだ制約があるところも多くあります。普及の活動はなかなか計画・実行しにくいところがあるかと思います。くれぐれもご無理のないようお願いします。この影響で活動に触れる機会、続ける機会を逸してしまった学年や子ども達がいるとしたら、なんとかフォローしていきたいものだと思います。ぜひともよろしくお願いいたします。

普及コーディネーター取り組み事例紹介①

青森県

太田 哲さん

【各FAでのサッカーファミリー拡大にむけた現状と課題(フェスティバル等)】

本県的女子選手数は全国的な推移と同様、ゆるやかに増加してはいるものの「U-12年代からU-15年代への移行」と「U-18以降継続する選手増加」はとても大きな課題となっています。また女子GK選手の少なさは特に深刻な課題と考えています。

【普及コーディネーターの活動として特に重点的に取り組んでいること(フェスティバル等)】

テーマ＜”あおもりなでしこ”を目指して＞

昨年度は本県もコロナ禍により、フェスティバル等の普及活動を実施することが難しい状況でした。それでも夏以降には子どもたちがサッカーと出会い・触れ合う機会を作り出すことができました。

2021シーズンが始まる直前の3月末に、U-12・13・14FAトレセンを実施できました。女子委員会のメンバーや各チームの指導者、さらにトレセンスタッフが「さあこれから」と、気持ちを新たにしていた矢先に再びの活動自粛。現在計画通り実施の事業もありますが、いくつかの事業は延期、または中止となってしまいました。

県内や東北地域の状況次第とはなりますが、子どもたちや保護者、スタッフの安全・安心を確保して今後の普及活動に取り組んでいきたいと思っています。

【FA、自治体、クラブ等との関わり】

2020シーズンにおいては、二転三転しましたが各チームのご協力と、女子委員長をはじめとする事務局スタッフのご尽力により、「青森エンジェルリーグ(通称:Aリーグ)」を開催することができました。

2021シーズンにおいては、東北U-15女子リーグが始まるのを契機に、4リーグもさらなるバージョンアップを目指していました。シーズン前には新規参入希望チームが4チームもあり、高校4チーム、クラブチーム6チームの合計10チームでリスタートすることができました。県立高校の活動制限等により当初計画通りのスケジュールではありませんが、女子選手のゲーム環境確保のため、関係各位と協力し、リーグ戦を進めていきたいと考えております。

【今後の目標】

2026年開催予定の第80回国民スポーツ大会「青の煌(きら)めきあおもり国スポ」において、少年女子チームのスタッフはすべて「女性指導者」にすることが引き続きの目標です。

さらに、4月の女子委員会では、同年までにリーグ戦やFA大会において、各チームに女性スタッフを配置することを提案させていただきました。ハードルは決して低くはありません。しかしながら、私たち指導者は、選手に高い目標を持つことをコーチングしているはずで、私たちが自身が高い目標を掲げ、トライすることが大切ではないかを考えました。必ずできることを信じて、普及・育成・強化・指導者養成の「4つの柱」を一体で活動していきたいと思っています。

普及コーディネーター取り組み事例紹介②

岩手県

松本 剛史さん

【各FAでのサッカーファミリー拡大にむけた現状と課題(フェスティバル等)】

昨年度までの県内の各地におけるなでしこひろばの定期開催をさらに安定的に運営ができるよう、各開催地域との連携を図り、また協会HPでのコマーシャルを重要視し取り組んでいます。新たなる開催地域の開拓と指導者の養成が課題です。

【普及コーディネーターの活動として特に重点的に取り組んでいること(フェスティバル等)】

テーマ＜キッズとの連携の強化が女子普及のキーワード＞

協会の中における女子普及の要である女子委員会内部の普及への関わりをより多くつくり、また、県内各地で活発に活動し関係者人数も多いキッズの指導者と連携をとりなでしこひろばの開催地域が拡大できるよう取り組んでいます。1地域では月2回の定期開催がされ13～20名の参加が定着しましたし、県内5～6地域で月1ペースでの開催が実現できています。複数地域に参加する子もあり確実になでしこひろばの認知度が広がっている実感があります。

【FA、自治体、クラブ等との関わり】

情報発信の中心地でもあるFAに協力してもらいながら効果的なイベントの宣伝ができるようにしています。また、自治体とはなかなか連携しづらいところもありますが、今のところ会場費を免除していただいている自治体もあるので、今後、理解が進むようアプローチしなければと思います。クラブチームとの関わりについては、イベントに参加してもらえよう女子選手に積極的に声がけをしてもらい、参加者の拡大を図っています。

【今後の目標】

まだまだ県内でも女子普及のイベントの空白地域があるので、そのような地域でイベントやなでしこひろばが開催できるよう、各地域のサッカー協会、クラブチームと連携をとり定期開催までできること。そしてなでしこひろばが円滑にかつ魅力ある活動として開催できるよう地域担当者の指名や、指導者の確保や育成をしなければならないと考えています。



普及コーディネーター取り組み事例紹介③

宮城県

中田 麻衣子さん

【各FAでのサッカーファミリー拡大にむけた現状と課題(フェスティバル等)】

日頃、男子と一緒にプレーしている中体連の女子選手を対象としたフェスティバルを企画しております。高体連の女子部会の指導者の方が中心に運営を担当し、高校入学後もサッカーを続けてくれるような取り組みにしたいと考えております。1人でも多くの対象者に情報が届くよう、中体連の会議にてお時間をいただきお話しさせていただきました。6月末に開催が予定されているので、どのように周知すれば参加意欲につながるかを考えながら進めていきたいです。

【普及コーディネーターの活動として特に重点的に取り組んでいること(フェスティバル等)】

テーマ

<小学生年代の裾野拡大と、中学生の活動継続意欲向上、マイナビ仙台レディースとの関わりについて>

昨年度よりスタートした小学校4年生～6年生を対象とし、小学校サッカー巡回指導が今年度は通年での開催が決定し、5月中旬募集をスタートいたしました。この活動はコロナ禍における運動不足解消にむけて、ボール遊びや鬼ごっこ等の「運動」を通して、仲間づくり、健やかな成長を促進させ、心身の成長に必要な「刺激」を与えることを目的としております。学校現場と協力し、学校体育の枠組みの中で効果的、効率的に授業を展開する一助になる内容でゴール型ゲーム(サッカー競技)の楽しみ方を体育授業時間(45分)で行います。MFAとしては女の子にもサッカーを始めるきっかけ、継続する意欲につながるように女性スタッフが必ず1名は帯同し、女の子もサッカーに馴染みやすい環境づくりを目指しています。昨年はコロナの影響でできませんでしたが、巡回指導を「楽しかった!」で終わらず、「またやりたい!」をしっかりキャッチできるように、今年度は実施した小学校の近隣で女子フェスティバルを開催し、継続意欲に繋げ、裾野の拡大を目指します。また、5月にMFAホームページ内に女子に特化したページを作成しました。それぞれに合った環境を見つけるきっかけづくりになればと思います。

【FA、自治体、クラブ等との関わり】

WEリーグ開幕もあり、マイナビ仙台レディースの本拠地でもあるので、行政、クラブ、FAでの打ち合わせの場を設けてお互いの意見交換をしました。仙台はプロスポーツが混在している街でもあるので他プロ球団の地域との関わりの事例を共有いただきました。それを踏まえて、行政としてできること、MFAとしてできること・お願いしたいこと、マイナビさんのやっていきたいことというものを今後マッチさせて、9月の開幕を地域の皆さんの「楽しみ!」や「待ちに待った!」ものとしていきたいと考えております。また仙台にはスポーツ関係者が集まる例会があり、企業も含めて何ができるのかということをご各団体、企業様にご提案もいただいておりますので、積極的に意見交換をしています。

【今後の目標】

小学生の始めるきっかけ、中学生へのリレーションと続けたいという意欲につなげていくことです。さらに女子サッカートップリーグのWEリーグに所属するマイナビレディース仙台が盛り上がることで、日本最高峰リーグに所属するクラブが地元に来たということは大変大きな出来ことだと考えています。続ける女の子たちのモチベーションにも繋がると思いますし、「夢」と掲げる子どもたちが増えると思うので、FAだけでなく、行政、地域、クラブ、学校など皆さんと連携しながら、女子サッカーが盛んな街にしていくことです。



普及コーディネーター取り組み事例紹介④

秋田県

越中 和範さん

【各FAでのサッカーファミリー拡大にむけた現状と課題(フェスティバル等)】

秋田県の総人口は約95万人で日本の総人口の約0.8%です。また、秋田県の小学生、中学生、高校生年代の合計人口は約10万人であり秋田県総人口の約10%程度で、秋田県は少子高齢が進行している。

また、2020年度秋田県のサッカー登録者数は4,313人(全国サッカー登録者数818,414人)で秋田県総人口の約0.5%程度であり、秋田県のサッカー登録者は主に小学生、中学生、高校生年代のため、秋田県の小学生、中学生、高校生の年代別合計人口に対して約4%程度である。

2020年度秋田県のサッカーチーム登録数は166チーム(全国登録数26,590チーム)とサッカーチーム数、登録者数ともに全国最下位ですが、秋田県のフットサルチーム数は59チーム、登録者数は746人で全国上位(チーム数10位、登録者数12位)を占めている。

4種年代の節目で、女子サッカーを選択する環境(チーム数、指導者、練習場所への交通手段)が整っていない。女子バスケットボール、女子バレーボール、女子陸上は各中学校、各高校に部活があるため選手、保護者共に安心して活動ができる。

【普及コーディネーターの活動として特に重点的に取り組んでいること(フェスティバル等)】

年齢、性別問わず、サッカー、フットサルに関わり続ける環境をつくること。

【FA、自治体、クラブ等との関わり】

毎年開催しているJFA女子サッカーフィスティブアルin秋田に参加し協力している。

サッカー指導者との交流の場で、女子サッカー普及にむけた情報を発信している。

【今後の目標】

新型コロナウイルス感染防止のため、活動ができない状況であり、コロナ禍でできることを考えて活動しました。

2020年度の成果は、秋田県FA初の女性限定D級指導者養成講習が開催されたことです。2020年時点の秋田県FAの女性指導者数は3名(C級2名、D級1名)と全国、隣県に比べて圧倒的に少ない状況のため、女性限定D級指導者養成教育情報を発信し、多くの参加者を期待していましたが、2名のみの参加申込でした。講師の提案により、日時を受講者と調整し柔軟に対応していただき、少人数でも講習を開催したことで、新たに2名の女性指導者が誕生しました。また、女性指導者が活躍できるよう、なでしこひろば等で活動の機会を提供し、2021年度計画しています。

秋田FA女子サッカーの現状を改善するためには、年齢、性別問わず、サッカー、フットサルに関わり続ける環境をつくることが不可欠です。普及は一步步ずつ前進していくこと、少しずつでも改善することが大事であり、今後も取り組んでまいります。



普及コーディネーター取り組み事例紹介⑤

福島県

高崎 昇さん

【各FAでのサッカーファミリー拡大にむけた現状と課題(フェスティバル等)】

女子サッカーデーを県協会主導事業として3月にJヴィレッジで開催した。また、女子県トレセンをフットボールセンター優先使用で更衣室問題が解消された。課題は女子サッカーファミリーをどう増やしていくかです。

【普及コーディネーターの活動として特に重点的に取り組んでいること(フェスティバル等)】

テーマ＜サッカーにかかわる女性を増やす取り組み＞

審判員の普及と育成は県と地区審判委員会と連絡を取り審判取得・更新講習会を女子選手のいるチーム単位で実施し、県女子リーグや上位大会の女子審判員が増えた。指導者は昨年C級コーチライセンスを3名が取得して県女子U-12チームは2チーム4名の女性指導者で大会に参加した。今年は高校女子チームにキッズリーダー資格取得講習会開催を要請している。また、女子委員会強化部に働きかけて県女子トレセンのU-12とU-15で4名の女性指導者が活動している。選手についてはコロナ禍で事業が開催されていない状況ですが、強化部が選手追跡調査を行うことで各年代指導者間の連携が図られ選手の進路先が共有されるようになってきた。

【FA、自治体、クラブ等との関わり】

FAは「子どもたちに夢を」をビジョンの一つに掲げ、女子登録者を700名以上にすることを目標に「ふくしまっ子こどもフェスティバル」や「女子サッカーデー」を開催し女子サッカーファミリー拡充の事業を行っているので、これをキッズサッカー指導者育成や4種チーム関係者の女子選手受け入れへと繋げていきたい。また、Jヴィレッジで開催される福島県の補助事業に女子選手の普及強化事業開催について、Jヴィレッジに働きかけを行っていきたい。更に、いわきFAと連携を図りJFLいわきFCの施設を利用した月1、2回女子サッカーファミリーが集える事業を現在検討しており実現させていきたいと考えています。

【今後の目標】

前回の事例紹介では、4種委員会だけでなく、指導・キッズ・強化・審判委員会との連携を図りサッカーファミリーを拡充したいと上げました。女性の指導者育成、トレセン活動、審判員養成は各委員会の理解と協力により少しずつではありますが進捗がありました。これからは活動の機会を増やし、認知度を高め仲間や理解者を増やして行ってほしいです。サッカーママ（キッズリーダー・審判）を増やすこととキッズリーダー資格保有女性保育士養成についてはキッズ委員会や4種委員会と連携し対応策を探っていきたい。「ふくしまっ子こどもフェスティバル」や「女子サッカーデー」等を県内各地幅広く周知させる方策を探って普及につなげていきたい。



2021-22 WEリーグ 第1～3節 日程発表

日本初の女子プロサッカーリーグ、9/12(日)に開幕決定！

日本初の女子プロサッカーリーグとして誕生するWEリーグ（Women Empowerment League）は、9月12日（日）に各ホームスタジアムにて開幕することが決定しました。全11クラブがホームタウンでの開幕戦を迎える第1節～第3節の日程につきまして、以下のとおり発表します。

記

【大会概要（抜粋）】

大会名称：（日本語表記）2021-22 WEリーグ ※1 （英語表記）2021-22 WE LEAGUE

主催：公益財団法人日本サッカー協会／一般社団法人日本女子プロサッカーリーグ

大会方式：ホーム＆アウェイ方式による総当たりリーグ戦 全22節／110試合

開催期間：2021年9月12日（日）～2022年5月21日（土）または22日（日）予定

※1 大会名称の読み方は「ニセンニジュウイチ ニジュウニ ウィーリーグ」

【2021-22 WEリーグ 第1～3節 日程】

節	開催日	曜日	対戦カード				試合会場
1	9/12	日	★	INAC 神戸レオネッサ	vs	大宮アルディージャ VENTUS	ノエスタ
	9/12	日	★	マイナビ仙台レディース	vs	ノジマステラ神奈川相模原	ユアスタ
	9/12	日	★	アルビレックス新潟レディース	vs	AC 長野パルセイロ・レディース	デンカ S
	9/12	日	★	ちふれ AS エルフェン埼玉	vs	サンフレッチェ広島レジーナ	熊谷陸
	9/12	日	★	日テレ・東京ヴェルディベレーザ	vs	三菱重工浦和レッズレディース	味フィ西
	理念推進日		ジェフユナイテッド市原・千葉レディース				-
2	9/18	土	★	AC 長野パルセイロ・レディース	vs	日テレ・東京ヴェルディベレーザ	長野 U
	9/18	土	★	サンフレッチェ広島レジーナ	vs	マイナビ仙台レディース	広域第
	9/20	月・祝	★	ジェフユナイテッド市原・千葉レディース	vs	ちふれ AS エルフェン埼玉	フクアリ
	9/20	月・祝	★	三菱重工浦和レッズレディース	vs	ノジマステラ神奈川相模原	浦和駒
	9/20	月・祝	★	大宮アルディージャ VENTUS	vs	アルビレックス新潟レディース	NACK
	理念推進日		INAC 神戸レオネッサ				-
3	9/25	土		日テレ・東京ヴェルディベレーザ	vs	サンフレッチェ広島レジーナ	味フィ西
	9/26	日		アルビレックス新潟レディース	vs	ちふれ AS エルフェン埼玉	デンカ S
	9/26	日		INAC 神戸レオネッサ	vs	ジェフユナイテッド市原・千葉レディース	ノエスタ
	9/26	日	★	ノジマステラ神奈川相模原	vs	AC 長野パルセイロ・レディース	ギオン S
	9/25(土)or26(日)			マイナビ仙台レディース	vs	大宮アルディージャ VENTUS	ユアスタ
	理念推進日		三菱重工浦和レッズレディース				-

★：ホーム開幕戦

※ キックオフ時刻、チケット情報、放送情報は決定次第お知らせします。

※ 「理念推進日」とは、WEリーグの理念「女子サッカー・スポーツを通じて、夢や生き方の多様性にあふれ、一人ひとりが輝く社会の実現・発展に貢献する」を体現するために、各クラブがアクションを起こす日です。取り組みの方針や各クラブの具体的な活動内容については改めてお知らせします。

【WEリーグ岡島喜久子チェアコメント】

9月12日（日）に日本初的女子プロサッカーリーグ「WEリーグ」が開幕します。開幕まであと100日。いよいよ、カウントダウンに入りました。WEリーグでは、第1節から第3節までを「開幕節」と総称し、11クラブのホームスタジアムでWEリーグの誕生をお披露目します。各クラブの多彩な魅力はWEリーグが理念に掲げる多様性そのものです。WEリーグらしさの中に各クラブの特色があらわれるホーム開幕戦を創り上げ、新型コロナウイルスとの闘いが続く世の中を女子サッカーの力でエンパワーしたいと思っています。

<参考情報>

WEリーグ公式 クラブ名称表記（2021年6月4日現在）

名称	略称
マイナビ仙台レディース	マイ仙台
三菱重工浦和レッズレディース	浦和
大宮アルディージャ VENTUS	大宮 V
ちふれ AS エルフェン埼玉	EL 埼玉
ジェフユナイテッド市原・千葉レディース	千葉 L
日テレ・東京ヴェルディベレーザ	東京 NB
ノジマステラ神奈川相模原	N 相模原
AC長野パルセイロ・レディース	AC 長野
アルビレックス新潟レディース	新潟 L
INAC 神戸レオネッサ	I 神戸
サンフレッチェ広島レジーナ	S 広島 R

スタジアム名称・略称（2021年6月4日現在）

正式名称	略称
ユアテックスタジアム仙台	ユアスタ
浦和駒場スタジアム	浦和駒場
NACK5 スタジアム大宮	NACK
熊谷スポーツ文化公園陸上競技場	熊谷陸
フクダ電子アリーナ	フクアリ
味の素フィールド西が丘	味フィ西
相模原ギオンスタジアム	ギオンS
長野 U スタジアム	長野 U
デンカビッグスワンスタジアム	デンカ S
ノエビアスタジアム神戸	ノエスタ
広島広域公園第一球技場	広域第一

WE LEAGUE に関するお問い合わせ 一般社団法人日本女子プロサッカーリーグ media@weleague.jp

ゴールドパートナー/グラスルーツパートナー



シルバーパートナー



シルバーパートナー/オフィシャルサプライヤー



WEリーグクラブ初所属全選手C級ライセンス取得！

2017年より※1 現役選手向けに実施している公認C級コーチ養成講習会。今年は選手16名が2月より受講を開始し、5月25日の課題レポート提出をもって、参加選手全員がすべてのカリキュラムを終えました。

これにより、WEリーグ所属クラブ初となる、所属全選手がC級ライセンス以上を取得いたしました。選手としての競技活動を続けている間にライセンスを取得することによりサッカーの視野を広げ、プレー理解の向上や幅を広げることを目的としています。

また、セカンドキャリアの選択肢を増やし、引退後に女性指導者として貢献できる人材をクラブより輩出し、女子サッカー界発展の一役を担いたいと考えております。

昨年策定されたWEリーグ参入基準には、プロ契約選手の全員がC級ライセンス以上を取得することが記載されています。マイナビ仙台レディースに所属する選手が、女子プロサッカー選手としてのロールモデルとなれるよう、また、クラブコンセプトに掲げている「日本でいちばん、“ひと”が育つクラブへ」を体現するべく、選手個々の成長を促してまいります。

※1 マイナビベガルタ仙台レディースより講習会を実施しています。



【講習参加選手コメント】

宮澤 ひなた選手

今回の指導実践で学んだことを今後の競技生活にも生かせると感じました。

隅田 凜選手

指導というのは、課題に対して答えを教えるのではなく、解決策を導くことが大事ということを知りました。そのためには選手に対しての伝え方が重要で、プレー中に投げかけるのか、プレーを一旦止めて問いかけるべきか、デモンストレーションが必要かなどの判断が難しいと感じました。

市瀬 菜々選手

良い指導者が増えれば良い選手が育ち、日本のレベルが上がってくると、講習を通じて強く感じました。

國武 愛美選手

今回の実技や講義で学んだ年齢別の指導の仕方や、成長段階における選手への指導の仕方をこれからのサッカー教室などで機会があれば活用していきたいと思います。

山下良美審判員が女性審判員として初めてJリーグの主審を担当



5月16日(日)に行われた明治安田生命J3リーグ 第8節 Y. S. C. C. 横浜対テゲバジャーロ宮崎の試合で、山下良美主審が女性審判員として初めてJ3リーグの主審を担当しました。

AFCカップや高校選手権など、これまでも男子の試合で主審を務めてきた山下審判員は、今シーズンよりJリーグ担当審判員の一人となりました。シーズン開幕後はJリーグのエリートリーグなどの試合で経験を重ね、この日初めてJリーグの公式戦で主審を務めました。

【山下良美 審判員 コメント】

審判員4人で協力していつも通りのレフェリングができるように、一つ一つ丁寧に誠実に対応することだけを考えて試合に臨みました。これからもこの機会が続いていき、この状況が当たり前になるよう、目の前の試合に全力で臨みたいと思います。

【黛俊行 JFA 審判委員長 コメント】

山下さんはジェンダーに関わらず、一人の審判員として実力に見合ったカテゴリーで審判ができることを見事に体現してくれました。このことは、女性審判員の方たちにとっては、大きな目標や励みになったと思います。また、観戦していただいた多くのサッカーファンや色々な職場、職域で働く女性の方々にも感動と勇気を与えられたのではと考えています。山下さんは東京オリンピックにも招聘されています。是非審判員への応援もよろしくお願いいたします。

なでしこジャパン（日本女子代表）メンバー発表！

第32回オリンピック競技大会(2020/東京)サッカー競技(女子)【7.21～8.6】

MS&ADカップ2021【7.14@京都】

第32回オリンピック競技大会（東京／2020）／MS&ADカップ2021(7.14@京都)に臨むなでしこジャパン（日本女子代表）メンバーが発表されました。皆様のご声援、よろしくお願いいたします！

【スタッフ】

監督	高倉 麻子	タカクラ アサコ	TAKAKURA Asako	【日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ】
コーチ	大部 由美	オベ ユミ	OBE Yumi	【日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ】
コーチ	今泉 守正	イマイズミ モリナオ	IMAIZUMI Morinao	【日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ】
GKコーチ	大橋 昭好	オハシ アキヨシ	OHASHI Akiyoshi	【日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ】
フィジカルコーチ	広瀬 統一	ヒロセ ノリカズ	HIROSE Norikazu	【日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ／早稲田大】

【選手】

【選手】								国際Aマッチ		
Pos.	No.	氏名		生年月日	身長	体重	所属	出場	得点	
GK	1	池田 咲紀子	イカダ サキコ	IKEDA Sakiko	1992.09.08	168 cm	60 kg	三菱重工浦和レッズレディース	18	-20
	18	山下 杏也加	ヤマシタ アヤカ	YAMASHITA Ayaka	1995.09.29	170 cm	67 kg	INAC神戸レオネッサ	40	-44
DF	4	熊谷 紗希	クマガイ サキ	KUMAGAI Saki	1990.10.17	173 cm	63 kg	FCバイエルン・ミュンヘン (GER)	114	1
	2	清水 梨紗	シミズ リサ	SHIMIZU Risa	1996.06.15	160 cm	47 kg	日テレ・東京ヴェルディベレーザ	37	1
	16	宮川 麻都	ミヤガワ アサト	MIYAGAWA Asato	1998.02.24	160 cm	52 kg	日テレ・東京ヴェルディベレーザ	14	0
	5	南 萌華	ミナモト	MINAMI Moeka	1998.12.07	172 cm	62 kg	三菱重工浦和レッズレディース	15	1
	17	北村 菜々美	キタムラ ナナミ	KITAMURA Nanami	1999.11.25	162 cm	49 kg	日テレ・東京ヴェルディベレーザ	3	0
	3	宝田 沙織	タカラダ サオリ	TAKARADA Saori	1999.12.27	170 cm	59 kg	ワシントン・スピリット (USA)	7	1
MF	7	中島 依美	ナカジマ エミ	NAKAJIMA Emi	1990.09.27	158 cm	50 kg	INAC神戸レオネッサ	85	14
	14	長谷川 唯	ハセガワ ユイ	HASEGAWA Yui	1997.01.29	157 cm	47 kg	ACミラン (ITA)	46	11
	6	杉田 妃和	スギタ ヒナ	SUGITA Hina	1997.01.31	162 cm	52 kg	INAC神戸レオネッサ	23	2
	8	三浦 成美	ミウラ ナルミ	MIURA Narumi	1997.07.03	156 cm	49 kg	日テレ・東京ヴェルディベレーザ	24	1
	13	塩越 柚歩	シオコシ ユズホ	SHIOKOSHI Yuzuho	1997.11.01	166 cm	54 kg	三菱重工浦和レッズレディース	3	2
	12	遠藤 純	エンド ジュン	ENDO Jun	2000.05.24	167 cm	55 kg	日テレ・東京ヴェルディベレーザ	17	1
FW	9	菅澤 優衣香	スガサワ ユイカ	SUGASAWA Yuika	1990.10.05	169 cm	62 kg	三菱重工浦和レッズレディース	75	24
	10	岩淵 真奈	イワブチ マナ	IWABUCHI Mana	1993.03.18	156 cm	54 kg	アーセナル (ENG)	77	35
	11	田中 美南	タナカ ミナ	TANAKA Mina	1994.04.28	164 cm	57 kg	INAC神戸レオネッサ	47	23
	15	初木 結花	モミキ ユカ	MOMIKI Yuka	1996.04.09	153 cm	53 kg	OLレインFC (USA)	38	14

バックアップメンバー

GK	22	平尾 知佳	HIRAO Chika	1996.12.31	173 cm	65 kg	アルビレックス新潟レディース	2	4
DF	19	三宅 史織	MIYAKE Shiori	1995.10.13	165 cm	53 kg	INAC神戸レオネッサ	25	0
MF	20	林 穂之香	HAYASHI Honoka	1998.05.19	157 cm	52 kg	AIKフットボール (SWE)	6	0
MF	21	木下 桃香	KINOSHITA Momoka	2003.03.02	163 cm	51 kg	日テレ・東京ヴェルディベレーザ	4	1

【開催の様子をご紹介します】

◆みやきなでしこクラブ（佐賀県） 5月22日（土）

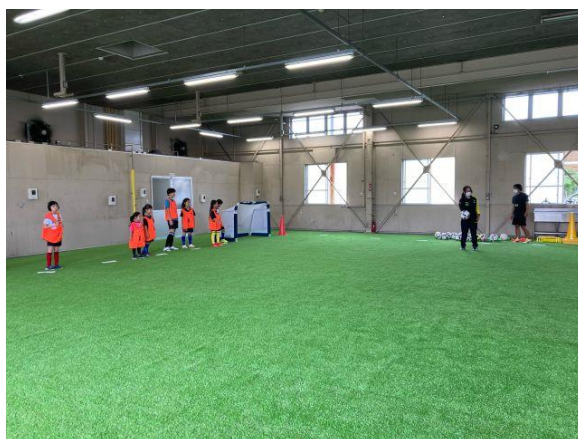
今回は幼児～6年生までのたくさんの子ども達（19名）が参加してくれました。参加された方は、初心者12名・経験者7名でした。

はじめての参加する方は、みんな緊張しているようでした。年長さんから参加しているので、保護者から離れてサッカーをするのも恥ずかしい子もいました。

内容はまず、ドリブル鬼ごっこやボールフィーリング、パスなどでたくさんボールに触れました。ボールを足で扱うことが難しそうでしたが、みんなの顔は一生懸命に取り組んでいました。自分のペースで上手にボールを運んでいました。そして、学年を分けてゲームを楽しみました。みんなボールを怖がらずに、果敢にボールを奪いに行っていました。高学年の子ども達は、最後にみやきなでしこクラブの選手と対戦。高学年チームの勢いに圧倒され、みやきなでしこクラブの選手が負けるぐらいでした。

＜なでしこひろばを開催した感想＞

- ・ 多分、チラシをみやき町の小学校に配布したことや4月に5月のチラシを1人3枚配布して配るようお願いしたことで参加人数が思っていたより多かったです。
- ・ 年長から6年生まで一緒にするので、それぞれが満足する様なメニューを考えることが難しいです。
- ・ 初心者と経験者がいるため、メニューが難しいです。
- ・ 経験者や上級生は満足してない子どももいると思います。
- ・ 人見知りの子どもや緊張している子どもを引き込んで、盛り上げていくのが難しいです。



◆紫香楽レディースサッカークラブ（滋賀県） 5月22日（土）

なでしこひろばを活用させていただき、数人ですがサッカーを楽しみたい少女、女子が増えてきています。

5月の開催に当たっては、活動拠点は宣言下でサッカーが出来ないけれど、サッカーボールを求めて中学生の兄弟などが参加してくれました。その妹と、あと2人の園児はサッカーというより、外で身体を動かしたい気持ちが大きく、鬼ごっこと遊具、チョットだけボール遊びで、汗だくになるまで楽しんでもらいました。中学生に関しでは、自チームの子ども達とサッカーボールで触れ合いました。

色んな世代が集まり、サッカーボールがある環境で、一生懸命に身体を動かしてくれたら良いかなとそこから、少しでもサッカーが好きになってくれたらと、活動させてもらいました。



◆FC golazo gol 一宮（愛知県） 5月30日（日）初回開催

大きな広告宣伝をうったわけではありませんが、自チームの保護者さんがお友達などをお誘いいただき、初回にも関わらず沢山の人が来てくれました。

準備体操の時点で、初めて参加する幼稚園児、低学年の女の子が緊張して泣いてしまい入ってこれなかったもので、「まずは見学して面白そうだったら来てね」と声掛けしたこともあり、急遽、メニューを変更してボール遊びなど、初心者でも楽しめることをやりました！結果、泣いていた女の子もお母さんと一緒に最後まで参加することができました。

その後、徐々に簡単なサッカーメニューをやっていき、最後は4チームに分かれてミニゲームを行い終始笑顔の絶えない時間になりました。

- <メニュー>
1. ブラジル体操
 2. ラダー
 3. ボールフィーリング
 4. 4チームでボール集めゲーム（①手を使って②足で）
 5. 1vs1（2ゴールライン通過、最初は手で、そのあとドリブルで）
- 低学年、高学年、大人に分けて行いました。

※ Facebook、HPもごらんください！ <http://golazogol.com/>



【なでしこひろばデータをまとめてみました】

全国都道府県別認定団体数及び2021年5月開催申請数

都道府県	団体数	開催申請数	都道府県	団体数	開催申請数
1 北海道	15	4	25 滋賀県	6	3
2 青森県	5		26 京都府	8	1
3 岩手県	5	9	27 大阪府	17	4
4 宮城県	10	3	28 兵庫県	10	
5 秋田県	3	3	29 奈良県	3	
6 山形県	2		30 和歌山県	3	
7 福島県	2		31 鳥取県	5	
8 茨城県	8	1	32 島根県	1	
9 栃木県	16	7	33 岡山県	10	1
10 群馬県	4		34 広島県	9	
11 埼玉県	35	2	35 山口県	2	
12 千葉県	11	1	36 香川県	6	
13 東京都	55	1	37 徳島県	4	2
14 神奈川県	23	2	38 愛媛県	3	
15 山梨県	5		39 高知県	2	
16 長野県	8		40 福岡県	12	1
17 新潟県	7	2	41 佐賀県	6	2
18 富山県	4	2	42 長崎県	6	
19 石川県	5	2	43 熊本県	4	
20 福井県	5	1	44 大分県	5	1
21 静岡県	11	5	45 宮崎県	3	
22 愛知県	20	2	46 鹿児島県	2	
23 三重県	10		47 沖縄県	8	
24 岐阜県	4	2	合計	408	64

【2021年5月データ】

- ・全国登録団体数 : 408団体
- ・新規登録団体数 : 9団体
- ・認定団体数の全国トップ3
 - 1) 東京都 (55団体)
 - 2) 埼玉県 (35団体)
 - 3) 神奈川県 (23団体)

- ・全国開催申請数 : 64開催
(4月開催申請数は77開催、13開催減)

各地での緊急事態宣言の延長などもあってか、5月の開催申請数は減少してしまいました。梅雨入りの時期が例年より早まった影響もあるかと思えます。気温や湿度の高い日が続いていますので、マスクの着脱や給水等、十分にご配慮いただき、楽しくなでしこひろばを開催していただけますと幸いです。ワクチンの接種も進んでいるようですが、皆様、引き続き、くれぐれもお気をつけてお過ごしください！

【事務局の受け付けが変更になりました】

2021年4月から、なでしこひろば事務局の受け付け・お問い合わせ方法をメールのみの対応とさせていただきます。

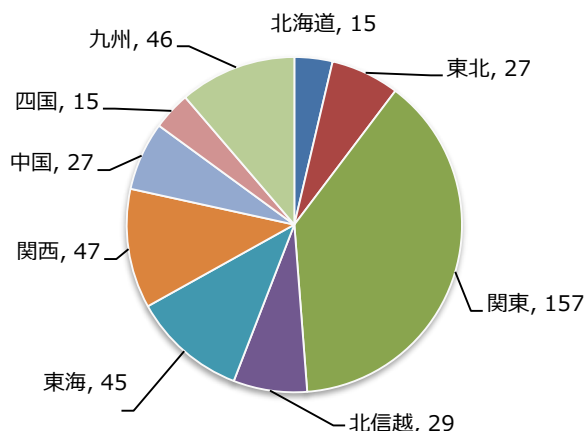
これまでの電話受け付けがなくなり4月1日以降はメールのみの対応とさせていただきます。各団体様にはご不便をおかけいたしますが、何とぞご了承のほど重ねてお願い申し上げます。

E-mail : info@nadeshikohiroba.jp

(今までのアドレスと変更ありません)

地域別認定団体数

北海道	15カ所
東北	27カ所
関東	157カ所
北信越	29カ所
東海	45カ所
関西	47カ所
中国	27カ所
四国	15カ所
九州	46カ所
【合計】	408カ所



<http://www.jfa.jp/nadeshikohiroba/>

※次回は2021年7月12日（月）ごろ配信予定です。お楽しみに！